２０２６年10月号-1

伊賀市立桃青の丘幼稚園だより

あさがお

～多様な主体性を涵養する教育～



９月は雨の日がありましたが、10月に入り心地よい晴れ間も見られるようになりました。朝夕の寒暖差が大きく体調を崩しやすい時期ですが、ご家庭で丁寧に健康観察を行い、早めの受診などご配慮いただきありがとうございます。

さて、園生活の中では遊びや生活の様子に成長が見られ、異年齢の友だち同士で関わり合って遊ぶ姿も増えてきました。 特に、言葉によるコミュニケーションの深まりを感じる場面が多くなっています。

友だちとかかわりながら遊びを深める【全園児】






ある日の出来事です。Ａさんが「あい先生、昨日ポストにお手紙入れたよ！見といてね！」と教えてくれました。その日忙しくしており確認できていなかったため、「ごめんね、昨日見られなかったから今日見ておくね！」と伝えると、ポストには子どもたちからのたくさんの手紙が入っていました。お帰りの際、Ａさんに「お手紙ありがとうね。」と伝えると、「いいよ！また明日ね！」と満面の笑顔で帰っていきました。

このように、言葉を通したかかわりが増えることで、お互いの気持ちが伝わり合う心地良さを日々実感しています。これからも子どもたち一人ひとりとの心通うやり取りを大切に育んでいきたいと思います。

心を通わしながら、ごっこ遊び・なりきり遊びなどを楽しむ【全園児】






水を使って遊んだり、身近な自然物に興味関心をもったりして遊びを進める【３歳児】




心身ともに健やかな心と体を育む
～継続は力と自信、そして自己肯定感の高まりへ～

広いホールを利用した運動遊び【３歳児】






園庭を使ってダイナミックな運動を楽しむ【４・５歳児】






当園では天候に左右されず、毎日の体づくりを大切に取り組んでいます。「心と体は一体である」と捉え、子どもたちが楽しみながら体を動かせるよう、環境構成や計画を行っています。

運動遊びを進める際は、一人ひとりの体力やその日の気持ちに寄り添うことを心がけています。「今日はこれに挑戦してみたい！」「ここは少しお休みするね。」といった子どもたちの声に耳を傾け、無理なく意欲的に取り組めるよう工夫しています。

また、年長組が生き生きと運動する姿は、年下の子どもたちにとって大きな憧れであり、目標となっています。身近にお手本となる仲間がいることで、「やってみたい！」という意欲も高まります。互いに認め合い、応援し合う中で、健やかな心と体を育んでまいりたいと思います。




～10 月あさがおイラスト～
抜群のコミュニケーション力をもつ
よつはさん

文責 まつなが あい